

〈授業の概要〉

1 授業名：アナタの知らない世界【聞くこと・話すこと】

2 授業内容

- ・自分が経験したことや調べたことなど、生徒の興味関心に応じて話題を設定して、その話題について内容をまとめてから友だちに紹介をする。
- ・題材が進むにつれて、習得した知識及び技能を活用し、様々なことについて同様の話し方ができるように、自分が見聞きしたことや経験したことに加えて、自分や友だちが知らないことを、タブレット端末を使ってインターネット検索したり、図書で調べたりして伝え合うようにする。
- ・伝わりやすく話ができている点や伝わりやすく話すためのポイントなどについて、友だちと対話しながら学習できるように、質問タイムや『聞き取りいいねシート』を活用して、聞き手が知らないことを聞いたり、話した内容が伝わったらいいねポイントをあげたりするようにする。

3 生徒の実態

【一般的】	【国語科に関する】
<ul style="list-style-type: none"> ・課題に取り組み、考えを発表する場面で、正しいかどうかを教師に尋ねることがある。 ・休日にしたことについて、時、場所、人、もの、行動、気持ちの内容を入れて教師に話す。 ・前時までの課題プリントを見て、学習した内容を確認するよう教師が伝えると、自分の考えを整理したり、誤答に気づいたりすることができる。 ・教師が課題に取り組む姿を認め、課題を解決した経験をする、自分から課題に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の好きな食べ物やテレビ番組、スポーツについての話を聞いて、内容ごとにまとめることができる。 ・修学旅行の思い出を友だちの前で話す時、活動を時間的順序に沿って話すことができる。 ・友だちや教師の話を聞いて、人が行動したこととその理由について教師が問うと、人と行動や行動とその理由がつかないこともある。 ・相手の考えや気持ちを聞いて、自分の思ったことや考えなどをまとめて、意見や感想として加えて話すことができる。 ・自分の好きなことについて教師に理由を問われると、面白いからと答え、その後、例えばどんどこか、他に面白いところはなどと問われると答えないこともある。

〈改善前の様子〉

1 これまでの生徒

- ・自分が見聞きしたことや経験したことについて話す時、話題と話題に対する答えとその理由を話す、理由と具体的な事例がつかないことがあった。

2 これまでの教師の働きかけ

- ・自分の伝えたいことを明確にして話すために、授業の展開場面では教師の話を聞いて話の全体と中心のつながりを確かめて、発展場面では話題に沿って話したり、友だちの話を聞いたりする。
- ・文房具やテレビ番組、ゲーム、授業などの自分が好きなことを話すという内容を明確にして、その内容について詳しく話すことができるように、『トークシート』で確かめて話題やそれを選んだ理由、理由に対する具体的な事例などを話すようにした。また、話すことができるようになったら、『トークシート』の手がかりを段階的になくした。
- ・友だちとの対話を通して、わかりやすい話し方についての理解を深めることができるように、タブレット端末で撮影した動画で自己を振り返ったり、友だち同士でよかった点や改善できる点について伝え合ったりする活動を設定した。

3 これまでの教材・教具

- ・『トークシート』、付箋メモ、『ワークシート』、『聞き取りいいねシート』、タブレット端末、PC、モニター

〈授業分析〉

1 方法

- ・授業中の姿を撮影した動画と、生徒が記述した『トークシート』や『ワークシート』の観察
- ・毎授業後に行う共同授業者との振り返りと改善を話し合うR研 15分間と、授業構想と振り返りを記録するU-noteを活用

2 分析の視点

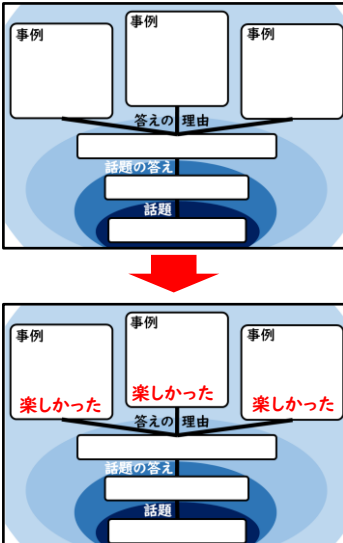

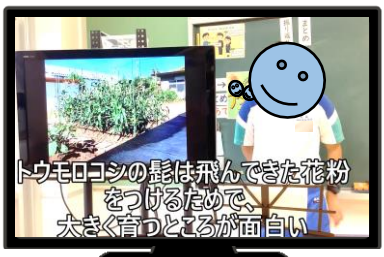
- ・『トークシート』『聞き取りいいねシート』『ワークシート』などの教具が有効に活用され、課題への意識を高め、意欲的に話すことができているか

3 分析結果の解釈と考察

- ・自分が見聞きしたことや経験したことについて、話題と話題に対する答えとその理由と具体的な事例を話す時、3つの具体的な事例が話題に対する答えの理由とつながったり、つながらなかったりすることがあった。

〈改善内容〉

- ・教具や働きかけの改善

『トークシート』	『聞き取りいいねシート』	TV番組風の動画
<p>情報同士のつながりを視覚的に捉えることができるシート。徐々にシートを外して話すことができるようにした。話題の答えと理由、具体的な事例をつなげて話すために、「楽しかった」を書き加えて改善を行った。</p> 	<p>意欲的に話したり聞いたりするためのもの。課題への意識をより高めて取り組むように、生徒ごとの課題に対する評価の項目を書き加えて改善を行った。</p> 	<p>達成に向けて意欲的に活動に取り組んだり、話すことができたか視覚的に確かめたりできるように、テロップや BGM を動画に入れて、導入場面で提示する。</p> 

〈改善後の変容〉

- ・自分が経験したことや調べたことなどについて、自分の答えとその理由、理由に対する3つの具体的な事例をつけ加えて話すことができるようになった。
- ・自分が好きな野菜の秘密について、タブレット端末でインターネット検索をして、調べた内容を友だちに話す姿が見られるようになった。
- ・友だちから手渡された『聞き取りいいねシート』の自由記述欄に、題材のはじめは何も書かれていなかったが、題材が進むと「理由に対する具体的な事例が詳しくよかった」「タブレット端末で表示した話題に対応した写真やイラストがわかりやすかった」などと記述するようになり、「伝わってよかった」と言う姿が見られて意欲的に話すことができるようになった。

題材はじめの話した内容	題材終わりの話した内容
<p>僕が好きなテレビは、信長公記というドラマです。なぜなら、面白いからです。仲間を助けるため、協力して格好よいです。仲間をかばおうとして戦い、戦って体力を減らしていました。これで僕の好きなテレビの発表を終わります。</p>	<p>僕の好きなゲームは、マリオツアーです。楽しくて、楽で、一位になった時楽しいからです。例えば、急な坂で飛んだ時が、楽しくてワクワクします。アイテムはキノコのダッシュキノコを使うと、カートがダッシュしてとても楽しくなります。他のキノコのアイテムは、トリプルダッシュキノコです。一気にダッシュキノコを使用し、長時間ダッシュできます。キノコ大砲は新アイテムで、使いやすさは普通で、やりやすいです。アイテムは使うと一位になれるし、何が出るか楽しみでドキドキします。先輩がおすすめしたアプリで、楽しいアプリでした。僕はそのゲームをして、とても楽しいゲームだなあと思いました。僕が好きなゲームの話が終わります。</p>

〈成果と今後の課題〉

1 成果

- ・『トークシート』『聞き取りいいねシート』を改善したり、『TV番組風の動画』を準備することで、課題を自ら解決したりする姿が見られて、話の全体と中心のつながりがわかり、自分の伝えたいことを明確にして話すことができるようになった。

2 課題

- ・自分が経験したことや調べたことなどの話題を広げて、友だちとの余暇の活用などでプレゼンテーションする場面でも、同様に話すことができる指導が必要となってくる。
- ・今後は、話す内容の構成などを【書くこと】の領域で扱ったり、聞き手が知っているか知らないかなどを判断して、相手の立場になって話す内容を考えたりする指導が必要となってくる。